

2学期を振り返って

2年2組 多田 明日凜

私たち2学年の中学校生活も折り返しを迎えました。今学期は初の体育祭や柏葉祭、食育、起業体験などがあり、新しい刺激や多くの経験ができたと思います。これらを踏まえ、成果は2つ挙げられました。

1つ目は、行事を通しクラスや学年で団結・協力ができたことです。体育祭や柏葉祭、どちらも最初は「なんとなくやっている」という人が多くみられました。応援団やパートリーダーの言われるがままだったり、ふざけている人がいたりという状況です。ですが、練習を重ねることで「勝ちたい!」「賞を取りたい!」と目標を持つ人、真剣に取り組む人が増え得ました。また、クラスとしてもリーダーの話に耳を傾け行動できるようになり、団結力が深まりました。団結したクラス、協力的な集団には話し合いがスムーズに進み、授業で発表しやすいなどの特徴があります。2学年は団結・協力を大切に、良いクラスをつくっていきます。

2つ目は責任感が高まったことです。夏休みでは部活、後期からは委員会を3年生から引き継ぎ、2年生が主体となりました。このため、後輩にわかりやすい支持を考える、委員会の運営、身近になったリーダーへの協力など様々な活動ができたと思います。新しいことに挑戦するなかで、仕事の責任や重要性に気づけたのではないのでしょうか。最近では、委員会の活動忘れがなく、懸命に呼びかけをする姿も見られます。責任感のある行動は信頼にもつながるため、リーダーに限らず学年全体で意識したいと思います。

ところが、成果が上がった一方で大きな課題も見つかりました。それは「気のゆるみ」です。最初にも述べたように、私たちは中学校生活の半分を過ごしました。日々の生活に慣れることは良いことです。ですが、緊張感がなくなり気が緩むことは問題点ともなります。挨拶はクラスの全員で行っていますか?自転車のルール、提出物の期限、遅刻、一般下校、守れていますか?今、下を向いてぼーっとしている人はいませんか?1日の生活を振り返ってみてください。手を抜いているところ、周りにできていない人、見逃している場面があると思います。今変わらなければ、学年・クラスの雰囲気は悪くなっていく一方です。

そのため、学年委員や委員長で全員が意識してできるように活動したいと思います。